

Vine

教育人間科学部

[人物発掘]

渡邊幹彦 教授

(大学院医学工学総合研究部生命環境学域
生命環境学系/地域社会システム学)
(生命環境学部地域社会システム学科)

[ゼミ紹介]

大学院医学工学研究部医学学域

微生物学講座

クローズアップびーふる / サークル紹介 / 気になるお店
大学の財政状況について





教育人間科学部

近年、児童生徒の理数離れや不登校、いじめ問題、小1プロブレム、中1ギャップなど、教育現場におけるさまざまな課題が指摘されています。また、いっそうの学力向上にむけた指導力はもとより、特別な支援を必要とする児童生徒への対応力、外国人児童生徒への対応力、ICT活用教育力など、教師に求められるものも増大しています。

こうした現代的ニーズに正面から応え、教育実践力豊かな新人教員の養成と輩出を図るために、教育人間科学部では、広い視野を身につけるための学部共通基礎科目とブリッジ科目を配置する他、少人数グループワーク型基幹授業群を機軸に教職系・教科系・実習系科目を体系化しています。さらに、初等理科実験等を必修とし、教育ボランティア実習、アーツ・マネジメント実習、スポーツ・マネジメント実習など手厚い指導、充実した実習を用意しています。

「教育人間科学部」概念図



特徴

- 学校教育を人間の生涯発達・生涯学習のステージとして捉え、広い視野を獲得するための学部共通基礎科目と「ブリッジ科目」を配備しています。
- 幼・小・中・高の年齢期全般を見通した指導力を有する教員を養成します。
- 少人数グループワーク型基幹授業群を基軸に教職系・教科系・実習系科目を体系化しています。（「学び続ける力を育む教員養成プログラム」）
- 必修の「初等理科実験」「学校教育相談論」「特別支援教育論」、充実した「日本語教員養成プログラム」を設置しています。

●実習(教育ボランティア実習、アーツ・マネジメント実習、スポーツ・マネジメント実習)

教育ボランティア

教育ボランティアとは、教育的営みが行われている現場に実際にボランティアとして参加し協力することです。小・中学校の補習授業を支える「放課後チューター」、山梨大学内にある子ども図書館で選書や子どもたちへの読み聞かせを行うボランティアなど。他にも、博物館のボランティアや、ボランティアNPOセンターを介したものなど多様です。そうした学生の積極的な社会参加をガイドし援助することを目的としています。

アーツ・マネジメント演習

山梨大学教育人間科学部には、国立大学初のアーツ・マネジメントの専門コースである芸術運営コースがあり、授業科目としては、「劇場運営論」、「文化経済学」、「芸術療法」、「ワークショップ演習」などの科目が開講されています。

その中の「アーツ・マネジメント演習」では、「やまなし留学生スピーチコンテスト」を企画・運営することを通じて、イベント・マネジメントの基礎理論と実際を学びます。毎年、前年とは異なる何らかの発展的な企画内容や改善策を実施することを目標にして、学生による実行委員会を組織し、企画立案から協賛依頼、広報活動、当日の運営までのすべてをこの授業の中で計画し実践します。



アーツ・マネジメント演習の様子

スポーツ・マネジメント実習

スポーツ・マネジメント実習は、水泳、アクアティック・スポーツ、スキー、ウインター・スポーツ、キャンプなどを提供する側として実践的に学ぶために開講されるもので、集団で行うスポーツ・身体活動の行事の企画を立案し、実際に運営することができることを目標として、イベントの意味や流れ、その成果や評価などを実践を通して身につけます。

●初等理科実験



初等理科実験の様子

子どもたちの「理科離れ」が問題とされている現状があります。

「理科」というのは、わたしたちとわたしたちをとりまく自然の「理」＝「理法」を知りたいという欲求が原点の科目です。子どもたちにその欲求が失われているはずはありません。「理科離れ」克服には、子どもたちのワンダー(不思議、驚き)感覚を呼び覚まし、「理科」の魅力をいや増す教員の側の実践が求められています。

この実践の力を形成するため、すべての学生が小学校教員免許を取得する学校教育課程では、「初等理科実験」が必修としています。

この授業では、小学校教員として理科の授業、特に実験の演示と指導が行えるだけの素養を修得するため、物理・化学・生物・地学・理科教育学の5分野に関わる内容の実験を行い、基本的な実験器具を正しく扱えるようになることと、実験を通じて観察された自然現象はどのように展開しているか、またその現象がどのような法則に基づいているのかを説明できるようになることを目標としています。

●学校教育相談論

不登校、いじめ、発達障害等、近年の学校現場には課題が山積しており、教育相談へのニーズは高まる一方です。学校教育相談論では、カウンセリング理論と技法の基礎及び幼児・児童・生徒理解の理論と方法について、体験的なワークやVTR視聴を織り交ぜながら学習します。カウンセリングに関しては、子ども本人のみならず、保護者対象の相談や、スクール・ソーシャル・ワーカーや医療機関等の他機関との連携やコンサルテーションについても、その特徴や留意点について学びます。

この講義では、近年注目されている学校臨床を大きなテーマとし、教師として必要なカウンセリングの基礎的知識とスキルを習得することを目的とします。幼児・児童・生徒を理解し、不登校・いじめ・発達障害等子どもたちの抱える諸問題に対し、カウンセリング・マインドに基づいた適切な対処ができるよう、基本的な理論と技法の習得をめざします。

●特別支援教育論

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(平成9年6月18日成立、平成10年4月1日施行)」に基づく介護等体験実習、特に附属特別支援学校での実習(全2日間)の事前事後指導にあたります。

「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる…(略)…。(同法第1条)」という趣旨によるこの実習が各学生にとってより有意義になるように、障害および特別支援教育に関する初歩的な理解や教師としての基本的態度などについての習得を図ります。

●日本語教員養成プログラム

日本語教員養成プログラムでは、「日本語を母語としない人に日本語を教える」ことについて学びます。

現在、日本の学校教育の現場で、日本語がわからなくて困っている子どもたちが増えています。将来、小中学校や高等学校の教員を目指す人は、そのような子どもたちを支援できる知識や技能を身につけることができます。

現代の日本社会は、外国にルーツを持つ人たちとともに暮らす多文化社会へと急速に転換しつつあります。生涯学習に携わる学生は、異なる言語と文化を背景に持つ外国人と共生できる社会を作るための前提となる知識を学ぶことができます。

さらに青年海外協力隊などの国際協力活動に参加したい人、また、国内の日本語教育機関で日本語教師として働きたいという人にとって、日本語教育の基礎的な知識・技能を学ぶことができます。

発掘人物

渡邊幹彦教授

(大学院医学工学総合研究部生命環境学域生命環境学系 / 地域社会システム学) (生命環境学部 地域社会システム学科)



「生物多様性という分野の研究が、いつか必ず、社会に必要とされる時がくる」...

渡邊先生が未来を見通していた、それから12年後。

2012年4月、山梨大学に「生命環境学部」開設。

全国でもまだ数少ない、新しい学部が生まれました。

そして、これまで環境と経済の専門家として世界舞台を旅してきた渡邊先生はこの山々に囲まれたふるさとに、帰ってきました。

進路の決め手になったのは ただ一つの言葉

子どもの頃から愛宕山に登ったり、外ばかり飛びまわっていました。自然を守りたいという意識は、やはりこういう場所で育ったからでしょうか。これが東京とかであればまた違ったかもしれませんね。

小学校の頃は理科が好きで、自分でピーカーを買ったり、理系に進むものとはばかり思っていました。それが高校で一時期、数学に苦手意識を持ってしまい、なんとなく文系に気持ちは動いていきました。その時、たまたま受験雑誌の中に見つけた「経済とは経済市民である」という言葉に感動をして、それで経済学部に進学しようと決めたんです。

といっても今の学生のように積極的に情報収集をしていたわけではありません。でも情報収集が一番いいとも限らなくて、もっと直感的とか、好き嫌いとか、単純に「文学が好きだから文学部」とかで決めていいと思います。

ずっと心の底にある ルソーという理想

理想を抱きすぎるのは私の今も変わらない「くせ」ですが、大学に入った直後、自分がせっかく頑張った大学なのに理想とのギャップを感じ、1年生の前期に学校に行かず、岩波文庫の古典などを読み漁った時期がありました。ジャン・ジャック・ルソーの著作を全部読みました。「自然に帰れ」と、ルソーの描く世界は理想なんです。同時代の思想家をことごとくけなしたマルクスでさえ、ルソーの思想を決してけなさなかった。ルソーの人間像や生き方には未だに一番影響を受けています。

前期の単位不足を回復すべく、後期からは毎日4限まで全部履修登録をして全て出席しました。2年生の後半にはサブゼミに入り、そこで読まれたのがマイクロ経済学の、ある有名な教科書。英語の原書で数学的にも難しい本です。翻訳書もありましたが、お金もなかったし、「ちゃらい」学生に負けたくない

という意地からも英語のまま読みました。その本のおかげで英語力と数学能力が飛躍的に向上しましたし、今こうゆう職業にはついていなかっただろう、というほどそのまま私の財産になっています。学生には自分では見つけられないような本を「きっと君の役に立つ」と勧めてくれた先生に感謝しています。

イギリスの大学に根づく “自由と責任”

当時、環境経済学は、日本ではまだ確立されていませんでした。私は、それについて、外国の文献でしっていたので、その分野で国連の職員になりたかったのです。でも一介の平凡な家庭出身の学生には応募の方法がわからない。それで一旦は大手メーカーに就職した後、あきらめきれずイギリスのグラスゴー大学の修士課程に行ったんです。

イギリスの大学では日本と違い、勉強がでなければ有無をいわず落とされます。一見冷たいようですが、それによって全体の質を保っているんです。何をしても落ちないということであれば、全体の質までどんどん落ちていきますから。ただその本当の意味は「ジェントルマンに対し、こちらから勉強しろなんて失礼なことはいわない」「勉強する自由と、勉強しないと落第する責任があなたにある」ってことなんです。ただし、一度落第しても翌日にもう来年の願書を出すものがある。難しければもう一回チャレンジすればいいわけです。「自由と責任」という伝統をものすごく感じました。



この甲府盆地の中で学んでいても
「自分たちが日本の未来を担っている」
という気持ち、それがあれば
学ぶやりがいは大きくなる。



【略歴】

- 1986年3月 横浜国立大学経済学部国際経済学科卒業
- 1986年4月 カンオ計算機株式会社
- 1994年12月 グラスゴー大学大学院開発経済学修士課程修了
- 1996年4月 株式会社日本総合研究所海外クラスター主任研究員
- 2002年3月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期修了
- 2008年11月 名古屋大学国際環境人材育成プログラム特任教授
- 2012年4月 山梨大学教授(大学院医学工学総合研究部)

【専門分野】

マクロ経済学・開発経済学・環境経済学

【主な研究テーマ】

地域の自然資源を有効利用した望ましい経済発展

生物多様性という キーワードに導かれていく

私のように外国の大学院で環境経済学を学んだ人間は当時かなりいましたが、日本での就職は難しかったのです。私が大手銀行系のシンクタンクで海外の経済や環境の研究員としての仕事を得られたのは幸運でした。そこで落ち着くはずが、私はまたすぐ考えこんでしまいました。「温暖化に比べて、生物多様性を経済の観点から研究する専門家は少ない。でもいつか必ず社会が必要とする時がくる」。

そこで生物多様性の研究等に力を入れていたら、経済産業省から委員会の委員として呼ばれました。最初は生物多様性条約に向けたオブザーバー的立場として。2007年のペルーでの専門家会合にはアジア条約加盟国からの代表に選ばれました。国際法の成立に関する重要な局面で、私は一人で反対し成立を止めて、その時は、私の名は関係者の間で世界に認知されました。それで2008年の国際会合からは正式な日本政府代表団に。次は2010年の名古屋での国際交渉。同時期に名古屋大学が生物多様性分野のリーダーを育てる教員を募集していた。これは何か運命なんじゃないかと思いました。しかも大学教授であれば条約交渉の場でもシンクタンク研究員より押しがきくんです。それで私は、恵まれたシンクタンク研究員の仕事を辞して、名古屋大学に奉職しました。

山梨大学に新学部 ふるさと山梨に戻って

『生物多様性条約』というのは、1992年に成立した「生物の多様性を守りましょう」という国際ルールです。守るだけでなく、守りながら生物資源として活かし、その利益は公



平に配分しましょう。さらに2010年に名古屋議定書が採択されました。私の研究室の主なテーマの一つは、この条約の内容を社会でうまく進めていくための経済的側面からの分析です。

この4月からの手応えとしては、まず学生の質が思っていた以上にいいことです。これまで山梨には国立大学で経済の分野を学べる学部がありませんでした。今まで東京などに出るしかなかった優秀な学生が自宅から通えるようになりました。有名大学と比べても負けることはない。私はそれを応援してやりたいので厳しくしています。遅刻厳禁、私語、内職、居眠り禁止。場合によっては厳しく「叱り」ます。それをルールとしてしっかり伝えていかないと、全体が悪い方向に流れてしまうものです。学生は教師の鏡、こちらもちょうとしなければと思ってやっています。

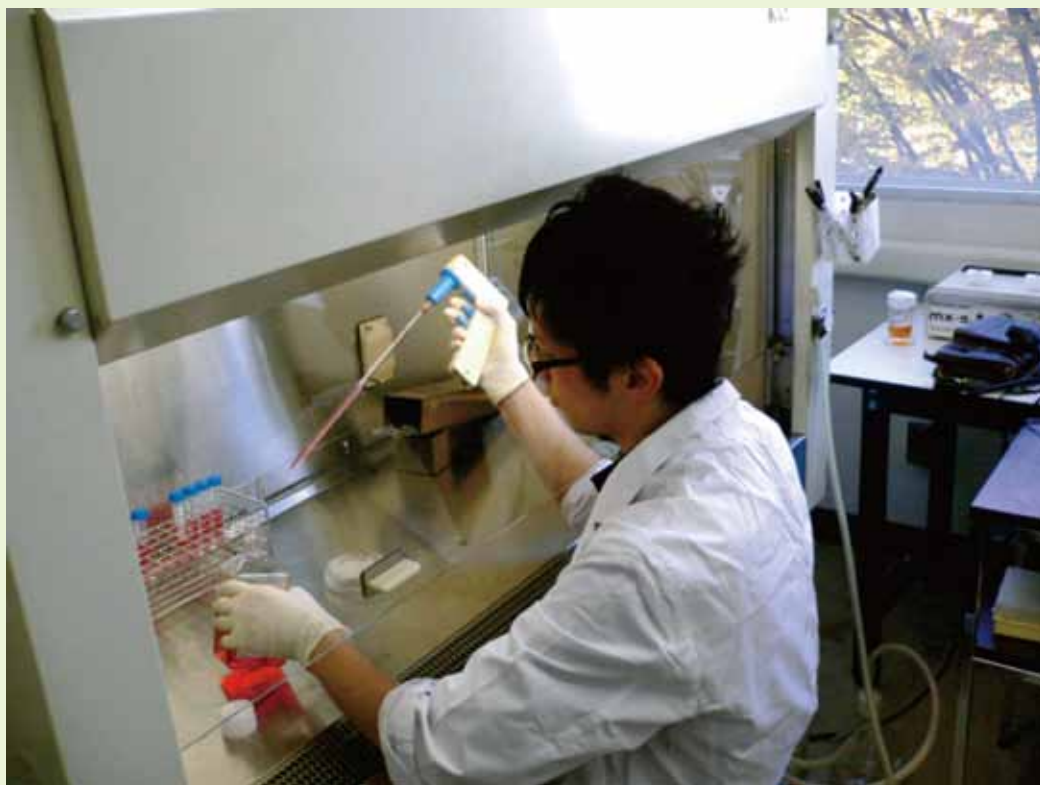
いちばん伝えたいのは 「甲府盆地の中にも 世界とは無縁じゃない」 ということ

成長中のアジアの大学などに行くと、教師が教室に入れば学生が全員パッと起立しますし、勉強もすぐしています。これからの学生がしっかり勉強して日本を引っばっていかないと、かつて日本がヨーロッパ、アメリカに追いついていった、その逆のことが起きない保証はありません。そうならないためにも、山梨県の山奥で生まれ、梨大に入って、仮に県内に就職したとして、そこでグローバルな視野をもって勉強や仕事ができるかが大事です。たとえば甲州ワインの競争相手はフランスやチリとすると、そういう視点が必ず必要です。一人一人が、どれぐらい競争力をつけられるかにかかっています。

といっても勉強だけしてろということではありません。私も子どもの頃からスケートと音楽はずっと好きでやってきました。フィギュアスケートで県の高校総体での優勝の経験もありますし、大学でも3年生になって時間ができると、大学のピアノ練習室に行き、ピアノを弾いたりしていました。CDのコレクションはロック、ジャズ、クラシックなど2,000枚。音楽は生きる糧になっています。

WATANABE Mikihiko

教室のモットーは「自身で道を切り開く」



安全キャビネット内で、安全に実験が行われます。

広義の微生物学は細菌学、ウイルス学、真菌学、寄生虫学を含みますが、当教室担当の学科教育科目は狭義の微生物学(寄生虫学以外)です。研究対象としてウイルスを選んでいます。細菌と真菌は生物で、ウイルスは複製体で生物ではありません。ウイルスは必ず自身の子孫を増やすために宿る細胞が必要です。蛋白質の殻で包まれた核酸(DNAかRNA)ゲノムをもち、ウイルスによってはその周りに脂質膜で更に包まれているものもあります。

ウイルス感染症のすべてが病気を起こすのではなく、全く病気を起こさないものもありますし、潜伏しているものもあります。私たちに認識されるものは何らかの異常を感染個体に引き起こすウイルスです。HIV、インフルエンザウイルス、ノロウイルス、ヘルペスウイルスなど数多くあるウイルスの中で、当教室の研究対象は肝炎ウイルスです。B型とC型肝炎ウイルスの二つは、肝臓に炎症を起こし、最終的に肝がんを引き起こします。C型肝炎ウイルス感染

者は多く、全世界の人口の3%(二億人程度)を占め、日本国内に170万人の感染者がいると推定されています。世界的なレベルでの感染症研究の成功は多くの方の助けとなり、C型肝炎ウイルス研究はその代表の一つと言えます。

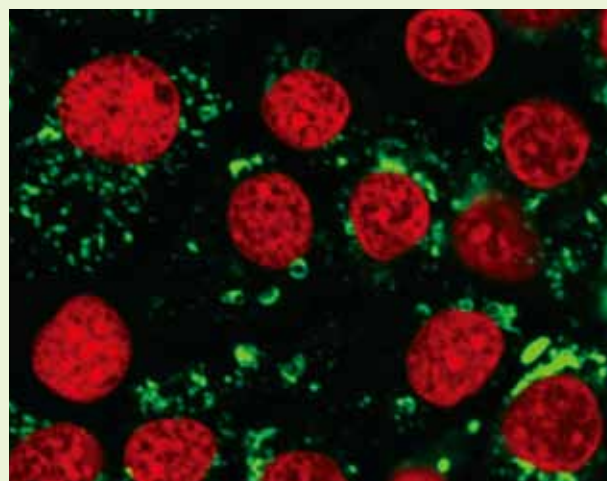
当研究室はウイルス自身がどのように増えて、どのように病気を起こすのかを研究し、臨床応用への橋渡しを目標としています。例え

ば、ワクチン開発や抗ウイルス薬開発など、基礎研究から臨床へ繋がる良い例としてあげることが出来ます。ウイルスの性質・特徴を把握すること、つまり、基礎研究を通じて、1)感染を阻止する、2)発症を予測する、3)発症を抑える、4)治療するなど方法論の確立をめざし、予防治療法開発への道を探っています。

毎週、研究内容を検討するプロGRESS発表会と論文抄読会を行い、研究室内の討論を通じて成果をまとめて、学会発表や誌上発表(専門誌へ投稿し、発表)することで、外部へ自身の研究成果を発信しています。研究を成功させるには主体的な考えを持つ事と、新しい分野へ飛び込む勇気が必要です。自身の研究方向性は

自身で切り開かなければなりません。医学部の特進コース参加者は大学1年から研究参加も可能ですし、医学部出身でなくても大学院生として入学すれば研究する事も可能です。ウイルス学を一生命科学分野として捉えることができますので、医学部出身以外の方でも、興味のある方は、是非、我々の研究室を訪ねてください。

Department
of
Microbiology



C型肝炎ウイルスに感染した培養細胞
赤が核、緑がウイルス蛋白質です。



close-up people

◎工学部コンピューターメディア学科
Fコース 河西絢子さん

就活は数多く受けることよりも、
しっかりと情報収集と下調べをすることが大事。

最初に自己紹介を
お願いします。

河西絢子です、こんにちは。
コンピューターメディア学科の4年生で
す、山梨生まれの山梨育ち!生粋の山梨
っ子です(笑)。勉強にサークルに遊びに
やりたいことが多すぎて時間の足りない
毎日ですがその分とても充実しています。

学科ではどのようなことを
やっているのですか?

4年生なので授業よりは研究が主体で
すね、「キネクトカメラを用いた3D形状検
索」という研究をしています。
どういった研究かという、カメラで物を
撮り、そのデータを元に3Dモデルを作成
する研究です。例えばぬいぐるみの写真
を撮ればそれだけでぬいぐるみの3Dモデ
ルが作れちゃうわけです。

サークル活動はどういった
活動をしているのですか。

フリーミュージックという軽音サークルに
所属しています。

フリーミュージックというサークルは軽音
サークルといった感じで、ロックやポップ
スだけではなくジャズなんかを演っている
人達も居たり、形態もバンドだけではなく
て、ソロでアコースティックギターの弾き
語りをしたり、二人組ユニットだったり
と様々で文字通りフリーミュージックとい
った感じですね(笑)。

私はフリーミュージックでバンドを組んで
ギターとして活動しているんですけど、そ
れ以外にもサークルのOBとバンドを組
んでいて、そういう風に世代間の仲が良
くて先輩後輩関係なくバンドが組めたり、
卒業してからも関係が続いていく、そう
いった結びつきの強さがフリーミュージ
ックの魅力ですね。

まだまだ実力不足の部分もあるんですけ



梨大文化祭ライブ

ど、練習は楽しいし皆でライブに向けて頑
張っていくっていうのはやりがいがありま
すね。

そして何より!ライブが楽しいんですよ!
出演するときは練習の成果を見せる楽し
さもありますし、何より皆が盛り上がり
てくれたときの楽しさはもう最高!って
カンジです(笑)。そしてなにより観客
として他の人のライブを観るっていう
のがすごく楽しいんですよ、皆素晴
らしい演奏をする人達ばかりで、激
しい曲で盛り上がりたり、ゆったり
した曲で落ち着いたり、ホント夢
みたいな時間を過ごすことができます。

12月の25、26日にもカズーホールという
ライブハウスでフリーミュージック主
催のライブを行うので、皆観に皆来
てください、絶対!お勧めです!12/25、
26カズーホールですよ!(笑)



サークルの友人と



ではちょっと話を変えて、
今年の就職活動が
始まりましたが、絢子さんの
就職活動の方はどうでしたか?

大変でしたたねー、内定を得るまでには
辛いことがたくさんありました。

東京に就職希望だったので、東京の会
社を中心に受けていたんですけど、まず
交通費が馬鹿にならない!

山梨と東京を何度も行ったり来たりする
のでそれだけで大変な出費でした。

それ以外にも朝が早くて大変だったり、ど
うしても授業を休まなくちゃダメだ
ったりといろいろ大変でした。

特に選考の途中で落ちるとやっぱりシ
ョックがすごくて心が折れそうになり
ました。

(笑)

でも就職活動を通して他の就活生と
仲良くなれたりとその分楽しいことも
たくさんあったりして、今になって思
うと、とても充実していました。

ありがとうございました。

では最後に、
現在就職活動中の後輩に
向けてエールをお願いします。

やみくもに数多く受けることよりも、し
っかりと情報収集と下調べをすること
が大事です!つらいこともありますが
楽しいこともたくさんあります!自信
を持って!皆が素敵な職場で働ける
ことを願っています。



東京でショッピング



たプレイヤーの笑顔がとても素敵ですよ!

“アイスホッケーって、経験者向けのスポーツでしょ?”と思っている方も多いかもしれませんが、そんなことはありません。山梨大学全学部アイスホッケー部のプレイヤーには、大学から始めた人が多く在籍します。先輩たちが丁寧に教えてくれるので、初心者でも、基礎から身につけることができます。スケートをしたことがなかった人もいますが、練習でどんどん上達しますよ。

最初は怖いと思うかもしれませんが、プレイヤーはみな生き生きと楽しそうに滑っており、何か新しいことを始めたい人には最適のスポーツだと思います。

私たちは、2008年に創部をし、今年で5年目を迎えます。部員の顔ぶれは毎年少しずつ変わっていきませんが、普段から部員の仲が良く、イベント係が楽しい企画を考えてくれるので、練習以外にも和気藹々と活動しています。もちろん練習の時は気合のこもった声がリンク上を飛び交い、メリハリがあるのも特徴の一つです。山梨大学に入学したら、ぜひ一度アイスホッケー部に遊びに来てくださいね!

こんにちは、山梨大学全学部アイスホッケー部です。私たちは現在、プレイヤー18人、マネージャー11人の、総勢29人で活動をしています。練習は、4月～6月は体幹づくりや基礎の定着を目的とした陸上トレーニングを行い、7月～3月にかけて、週に2回リンクでの練習を行います。小瀬スポーツ公園アイスアリーナをホームリンクとし、毎年3月上旬に長野県のビックハットエムウェーブで開催される松沢杯を目標に、山梨県内リーグ戦、9月に行われる林杯に出場をしています。中でも3月に行われる松沢杯は、引退となる節目の大会になるので、集大成を発揮できるように、日々の練習を重ねています。

アイスホッケーは、選手の滑走最高時速は50キロメートル以上、バックのそれは150キロメートル以上で、スピード感にあふれています。更に、ボディチェックなどの激しい選手の動きが試合を盛り上げます。実際の試合をそばで見ていると、パスが通った時、カットが成功したとき、チェックがうまくいったときの興奮、そしてなんといってもゴールが決まった時の爽快感は格別です。ゴールを決め

Ice Hockey



全学部 アイスホッケー部

全学部

CAMPUS

〈サークル紹介〉



医学部

〈サークル紹介〉

医学部 IFMSA-Yamanashi



こんにちは、医療系サークルIFMSA-Yamanashiです！『IFMSA=国際医学生連盟』は、世界中の医療系学生が活動するNGO団体です。私たちはIFMSA-Japanの山梨支部であり、幅広い視野をもった医療人を育成することで、よりよい社会を目指しています。現在3つの部門からなり、40名以上の学生が所属しています。

**大学の中だけでは
学べないことがたくさんある。
+αしないともったいない！**

◎交換留学部門◎

IFMSAに加盟する世界100ヶ国間で交換留学を行っています。留学には臨床留学と基礎研究留学があり期間は1ヶ月です。昨年は2年生の部員がスイスに行ってきました。交換で、今年は夏に香港・チェコ・ギリシャから3名の留学生を受け入れました。留学生は、welcome partyで歓迎します。平日は病院実習があるため、昼食や夕食を部員と一しょに食べます。週末は昇仙峡や花火大会など県内の観光をし、留学生の希望で東京や京都への



小旅行にも行きます。また、夏の富士登山と温泉が最近の恒例になっています。山梨にいながら、留学生と濃厚な1ヶ月を過ごすことができる素敵な機会です。受け入れにはだれでも参加できますので、ぜひ遊びに来てください♪

◎ぬいぐるみ病院◎

地域の保育園へ出向き、保健教育を行っています。ぬいぐるみを患者さんに見立てた病院体験では、子どもたちが保護者の役を、学生が医師・看護師の役をします。実際に子どもたちが聴診器で胸の音を聞いたり、治療に参加したりすることで病院への怖さをなくすことが目的です。学生自身も、子どもたちとのやりとりを通して、コミュニケーションのしかたを学ぶことができます。他にも、熱中症や歯の磨き方、早寝早起きについての劇や、手作りの道具を用いて消化のしくみ、食育についての保健教育を行っています。



◎SCORA◎ (性と生殖・エイズに関する委員会)

『性を知り、生を豊かに』をスローガンに、性について考えています。大学生の私たちだからこそできることがあるはず。山梨県内の高校へ出向き性教育を行っています。高校生の頃に知りたかったこと、不安だったこと。その1つ1つに向き合います。高校生からは、「先のことを考えて行動しないといけないと思った」「もっと自分のからだについて知りたいと思った」など感想をいただいています。大学では、性の多様性・世界の性教育・恋愛・デートDV・性感染症・HIV/AIDS・同性結婚など性に関する幅広いトピックの勉強会を行っています。



あなたは何かからはじめますか？

Think globally, act locally



福音鮎

山梨県中央市若宮36-6
[電話]055-274-2339
[営業時間]11:00~14:00 17:00~22:00
[定休日]なし
[駐車場]あり



低価格でお寿司料理を

山梨大学医学部キャンパスの近くの若宮の交差点を北に約300m進むと、今年で開店6年目となる、学生さんには特におススメのお寿司屋さんがあります。今回はこちらのお店を紹介させていただきます。

昼の部と夜の部でそれぞれ違ったお料理を楽しむことができます。特に、是非一度は食べるべきおススメの料理がお昼のサービスランチです。お寿司のネタを数種類使った海鮮丼に茶碗蒸しとお味噌汁がついてたったの¥735で、寿司料理を安値で食べたいという学生さんには大変おススメの一品です。さらにはソースカツ重やカキフライ定食などといった揚げ物料理を昼夜ともに味わうことができます。夜には一般

の方向けに蟹、刺身、お寿司、お吸い物など、多数の料理を味わうことができるコース料理などもあり、メニュー、サービスともに充実しています。さらに夜は約30名までの団体による宴会を行うこともできます。お酒も呑みたいけれど、料理の方も楽しみたいという方には十二分に満足いただけるようになっています。

ここで伝えることができないほどに福音鮎の良さが本当に盛りだくさんです。おいしいお寿司を安値で食べたいという方は是非1度福音鮎に足を運んでみて、その味を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(医学部医学科1年 元山隆太)



Time Gang (タイムギャング)

山梨県甲府市丸の内2-2-6千山閣ビル2F
[電話]055-287-6969
[営業時間]PM7:00~AM LAST
[定休日]日曜日(但し、月曜日が祝日の場合は月曜日)
[駐車場]なし(周辺のコインパーキングをご利用下さい)



有名なギターの名器が並べられた店内

ギターの名器で奏でる懐かしの名曲が聞こえる

JR甲府駅前の賑やかな表通りからちょうちん横丁に入り、ふらりと歩いていると聴こえてくるのが、60年代、70年代、80年代…そして現代までの懐かしい名曲たち。「Time Gang(タイムギャング)」という看板の横には小さなモニターでその映像が流されています。

それにつられる様に毎日多くのサラリーマンや学生たちがその2階にあるお店に足を運びます。階段を上り、少し奥まったところにある扉は、まるで当時にワープする入り口のように、常連客からは隠れ家とも呼ばれています。

店内に入るとまず目にとまるのは、ギブソンやマーティン、リッケンバックーをはじめとする多くの名ギターと大きなモニター。お客さんたちはその名ギターに自由に触れ演奏をしたり、好きな曲をリクエストして大きなモニターで映像と音楽を眺めたりしながらお酒を嗜んでいます。アイドル、ロック、フォーク、洋楽…とジャンルを問わず聴けるのも魅力の一つ。毎週土曜日には、飛び入りのLIVEが可能で、自慢のギターを片手にやって来るお客さんも多いようです。

そんなあったかいHomeのような店内には、20代の若いお客さんも多く、男女問わず、年代問わず、世代を越えて共に思い出やその時代の話に触れられる、それが今駅前では話題のTime Gangです。

(教育人間科学部学校教育課程4年 清水絵夢)

Time Gang

大学の財政状況について

平成23年度決算の損益計算書から、山梨大学の財政状況を見てみましょう。

● 損益計算書の概要 ●

経常費用	
教育経費	1,380
研究経費	1,794
診療経費	9,017
教育研究支援経費	218
受託研究費等	1,889
人件費	14,739
一般管理費	607
その他	169
計	29,813

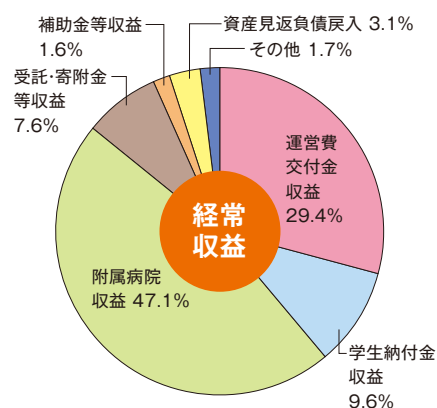
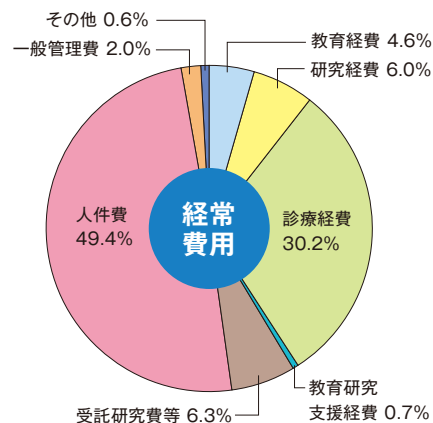
臨時損失	
固定資産除却損	0
その他	14
計	14

当期総利益	
1,118	

経常収益	
運営費交付金収益	9,086
学生納付金収益	2,969
附属病院収益	14,587
受託・寄附金等収益	2,342
補助金等収益	482
資産見返負債戻入	968
その他	511
計	30,945

臨時利益	
引当金戻入益	0
その他	0
計	0

目的積立金取崩額	
0	



本学の平成23年度決算を収支全体で見ると、大学の運営に必要となった費用は約298億1300万円、収益は約309億4500万円でした。

大学の財源となる経常収益は、附属病院収益が一番多く約145億8700万円(47.1%)、次に国からの運営費交付金収益(税金)が約90億8600万円(29.4%)となっていて、この二つの収益だけで全体の約77%を占めています。今年度の運営費交付金収益には、平成23年度補正予算(第1号及び3号)により措置された東日本大震災により被災した学生等に係る授業料等免除事業約1100万円が含まれています。

授業料や入学料など学生の皆さんが納付する収益は9.6%であり、国の支援により経営が成り立っていることがわかります。

また、学生納付金収益額は授業料免除を実施する前の総額であり、実際にはここから授業料約2億3300万円と入学料約500万円が免除されています。授業料免除額は授業料収益の9.3%に当たり、この中には、大学独自に確保した予算(約4300万円)を財源とした免除分(1.7%)も含まれています。

受託研究費や寄附金などの外部資金は7.6%であり、同規模大学の平均5.0%を上回っています。今後も積極的に外部資金を獲得するよう努力して

いきます。

経常費用は、人件費が約147億3900万円(49.4%)と約半分を占め、診療経費も約90億1700万円(30.2%)となっています。

教育経費(教職員人件費を除く)は4.6%で、学生1人当たりでは約27万9千円となっており、同規模大学の平均22万5000円を上回っています。

研究経費は6.0%で、教員1人当たりでは約242万円となり、同規模大学の平均約228万4千円を上回っています。

財務会計の処理上では、当期総利益が約11億1800万円と企業会計という経常利益計上になっておりますが、これは国立大学法人特有の会計ルールによるものが大部分で、実際に現金に裏付けされた利益は約7200万円となっています。なお、「利益」は、文部科学大臣の承認を得て、教育・研究・診療の質の向上や組織運営改善のために使用していく予定です。

本学も他の国立大学法人と同様に、運営費交付金の削減等、年々厳しい経営環境に置かれている状況ではありますが、教育、研究、社会貢献機能の強化による外部資金の獲得額増加や管理的経費の抑制、附属病院の増収策を施す等継続した取組みにより、安定した財務状況を保つことができいております。

学生納付金依存度 **9.6%**
同規模25大学平均 **11.8%**

外部資金比率 **7.6%**
同規模25大学平均 **5.0%**

人件費比率 **50.8%**
同規模25大学平均 **52.8%**

授業料免除額対授業料収益 **9.3%**
= 授業料免除額(2億3300万円) / 授業料収益(25億1000万円)

同規模25大学とは、医科系学部とその他の学部で構成され、学生収容定員1万人以上の大規模大学を除く25国立大学法人を指しています。

学生当教育経費 **27万9千円**
同規模25大学平均 **22万5千円**

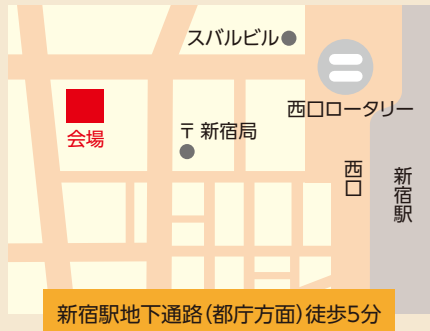
教員当研究経費 **242万円**
同規模25大学平均 **228万4千円**

詳しくは山梨大学ホームページ・財務に関する情報 (http://www.yamanashi.ac.jp/modules/profile_top/) をご覧ください。

平成25年度
工学部入学試験会場に
新宿会場(東京都)を
追加

山梨大学工学部は、平成25年度前期試験より、首都圏及び遠方の受験生の便宜を図るため、新宿会場(東京都)において、入学試験を実施いたします。新宿会場は、JR新宿駅西口から徒歩5分の

◎新宿会場(工学院大学)



工学院大学を予定しています。

なお、名古屋会場での入学試験も、従来どおり、JR名古屋駅太閤通口より徒歩3分の代々木ゼミナール名古屋校で実施します。

◎名古屋会場(代々木ゼミナール名古屋校)



募集要項の請求方法など(入試課)
受験生の皆様へ

平成25年度山梨大学一般入試

募集人員:

募集人員 学 部	前期日程	後期日程
教育人間科学部	86人	32人
医 学 部	35人	85人
工 学 部	212人	46人
生命環境学部	110人	20人

出願期間:平成25年1月28日(月)~2月6日(水)
 試験日程:(前期日程)平成25年2月25日(月)、26日(火)
 (後期日程)平成25年3月12日(火)
 平成25年3月14日(木)(看護学科)
 合格発表:(前期日程)平成25年3月6日(水)
 (後期日程)平成25年3月21日(木)

募集要項の入手方法:

- ①大学ホームページから請求する場合……(「入試情報」→「募集要項/入手方法」)
- ②テレメールで請求する場合

1.下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

●自動音声応答電話の場合

IP電話 050-8601-0101

※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分間毎に約11円です。

●携帯電話・PCのインターネットの場合

http://telemail.jp 携帯電話(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)、パソコンとも共通です。

2.希望する資料番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料番号	送 料	郵送開始日
大学案内	563350	390円	配布中
一般入試学生募集要項	583350	580円	配布中
一般入試学生募集要項+大学案内	543350	580円	配布中

3.あとは、ガイダンスに従って登録してください。

④モバっちょで請求する場合

●携帯電話・PCのインターネットの場合 http://djc-mb.jp/yamanashi/

なお、詳細は、下記大学ホームページ(入試情報)をご覧ください。

(URL: http://www.yamanashi.ac.jp/modules/admission_top/)



<入試に関するお問い合わせ先>

山梨大学教学支援部入試課

TEL : 055-220-8046

E-mail :

nyushi@yamanashi.ac.jp

編集後記

松任谷由実の「中央フリーウェイ」、若い方でもご存じの方はいるかと思いますが。あの曲が出た時代の中央道は、大月から富士五湖方面へ向かっていました。つまり都会とリゾート地を結ぶ高速道路でした。笹子トンネルが開通して甲府盆地に高速道路が通ったのは、その少し後でした。これが山梨の人々の生活にもたらした影響は大きいものがありました。東京都の距離が一挙に近くなったのです。その笹子トンネルが崩壊しました。あまりにも当たり前存在していたものが、突然無くなる、日常性の喪失は、失ってみてはじめて、その重要性が分かります。いずれは開通するものの、あって当たり前だった東京との動脈が切れたことは、この盆地の生活に、目立たないながらも確実に変化を強めています。あって当たり前もの、Vineの読者、特に若い方だと、その若さ、可能性、情熱などでしょうか。今の自分の日常は、とても大切なものだと言うことを、もう一度しっかり考えてください。Vine18号をお送りいたします。この中に、読者の方々の将来の「日常」を見つけることができれば、そして、それがとても大切なものだと言うことを感じていただければ幸いです。

広報誌専門委員会委員長 小畑文也



表紙作品の紹介

タイトル「バラ肉」

村山莉穂

教育人間科学部 美術教育専修 4年

山梨大学広報「ヴァイン」December 2012 vol.18

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。